

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 山陽小野田市立津布田小学校

① 学習指導案

プログラム	No.08 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
単元名 (全 時間)	「みんな大好き！未来へ残そう 津布田の景観」
学習のねらい	地域のおすすめの
学習内容	1 「景観」の構成要素（歴史・文化・産業等） 2 「景観」という概念の捉え直し 3 「景観」という側面から捉える津布田の地域的価値 4 情報の発信方法スキルの獲得
参考資料	山口県土木建築部都市計画課作成『わたしたちの景観』
準備品	360度カメラ
実施場所等	津布田小学校、津布田地域

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
3	「景観とは何かについて学ぼう」	・景観アドバイザーを招聘し、景観とは、目に見えるものだけではなく五感で感じる景観があることを理解させる。	・五感を使った視点から、校地内の写真を撮影することができる。
4	「山陽小野田市の景観づくりについて学ぼう」 「欧米人と日本人の景観意識の違いについて学ぼう」	・外部講師の講話をもとに、小野田市のまちづくりの方針と、日本人と欧米人の景観に対する考え方の違いがあることを理解させる。	
5	「津布田地域で未来へ残したい景観について考えよう」	・津布田地域の地図をもとに、児童と地域の方が話し合える場を設定する。また、フィールドワークを行い、実際に残したい景観を撮影する。	・津布田地域で残したい景観を、五感を使って撮影するとともに、説明できる。
2	「情報発信のツールについて学ぼう」	・外部講師の講話をもとに、360度カメラの使い方を紹介し、発信方法の見通しをもたせる。	
5	「情報発信のツールを活用しよう」 「情報を発信しよう」	・プログラミングの操作方法を伝え、児童の制作支援を行う。 ・保護者や地域の方に向けて、学習成果を発表する場を設定し、学習の振り返りを行う。	・プログラミングソフトに写真と文章を使って、「未来へ残したい景観」を発表できる。

<留意点>児童自身の考えを大切に、故郷のよさに気付けるような授業を展開したい。

② 事業実施報告書詳細

学校名 山陽小野田市立津布田小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
3	教室	「景観とは何かについて学ぼう」 ・担任による授業 ・県都市計画課の景観アドバイザーによる授業		景観は目に見えるものだけでなく、五感を使って探することができることに興味をもっていました。
2	教室	「山陽小野田市の景観づくりについて学ぼう」 ・山陽小野田市教育委員会社会教育課の方による授業		硫酸瓶について学ぶことを通して、町づくりと歴史や産業との関係に気づきました。
2	教室	「日本人と欧米人の景観意識の違いについて学ぼう」 ・山口大学の教授による授業		おすすめの景観は、地域や人種によって異なる価値観が存在することに気づきました。
2	教室	「津布田地域で未来へ残したい景観について考えよう その1」 ・地域の方とのグループワークを実施		地域の方のおすすめの景観や昔話を聞くことで、新たな地域の魅力に気づきました。
3	校外	「津布田地域で未来へ残したい景観について考えよう その2」 ・地域の方とのフィールドワークを実施		実際に地域を巡って写真撮影を行うことで、五感を生かした景観探しが行えました。
2	教室	「情報発信のツールについて学ぼう」 ・リコージャパンの方による授業		360度カメラに大変興味をもっていました。
5	教室 体育館	「情報発信のツールを活用しよう」  「情報を発信しよう」 ・地域感謝祭での発表		地域の方へ向けて、感謝の気持ちが伝わる成果発表会になりました。

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・多くの外部講師にお越しいただき、できるだけ「本物の体験」ができるようにしました。</li><li>・景観探しに深みが出るように、地域の方と一緒に考え、活動する場を設定しました。</li><li>・景観という概念を拓げるため、「五感」「本市の町づくり」「人種による価値観の違い」を単元に組み込みました。</li><li>・プログラミング教育も視野に入れるとともに、360度カメラを用いたまとめを行いました。</li><li>・一人一台端末を活用した、総合的な学習の時間の授業を計画しました。</li></ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方との調整や、授業時間の設定等において、時間を要したところです。</li></ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>景観探しを通して、以下の点で児童の変容があったと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方と話し合っ、おススメの景観を考えたことで、児童が知らなかった地域のよさに気付くことができました。インターネット等では調べられない情報などにもふれることができたことや、実際にフィールドワークを行ったことで、五感を活かして景観探しを行うことの大切さに気付いていたと思います。</li><li>・地域感謝祭での発表や、地域の方との交流を通して、地域に対する愛着が一層増したと思います。</li></ul>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>担当教諭は若手の教諭ですが、総合的な学習の時間を長期間にわたって計画・運営したことで、問いと答えの距離が長い授業を実施していく流れを実感できたと思います。</p> <p>また、今年度で閉校しますが、これまでの学習成果の発表に向けて、管理職を中心に一丸となって学習を進められたと思います。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <p>課題としては、特にありません。今後の取組としては、作成した景観マップを活用してホームページにアップし、さらに発信対象を拓げていきたいと思っています。</p>